

原市場聖書教会

NO. 837

週 報

年間聖句

20, しかし、私たちの国籍は天にあります。そこから主イエス・キリストが救い主として来られるのを、私たちは待ち望んでいます。

21, キリストは、万物をご自分に従わせることさえできる御力によって、私たちの卑しいからだを、ご自分の栄光に輝くからだと同じ姿に変えてくださいます。

ピリピ3章20～21節



2021. 4. 18

主 日 礼 拝

2021年 4月 18日

礼拝奉仕者

説教：若村和仁師 司会：本多崇兄 奏楽：勝山幸子姉 献金：渡辺恵姉

祈	り		司 会 者
今 月 の 賛 美		「 真昼のように」	一 同
使 徒 信 条			一 同
主 の 祈 り			一 同
賛 美		聖歌338番「 いともよきものを」	一 同
献 金			一 同
感 謝 の 祈 り			渡 辺 恵 姉
聖 書 朗 読		創世記11章1節～9節	司 会 者
説 教		「 バベルの塔から見る罪の原点」	若 村 和 仁 師
黙 禱			一 同
賛 美		聖歌578番「 主の愛のながうちに」	一 同
頌 栄		聖歌383番「 ちち・みこ・みたまの」	一 同
祝 禱			若 村 和 仁 師
後 奏			奏 楽 者
報 告			司 会 者



●コロナウィルス感染が落ち着くまで
昼食会はお休みいたします。

「バベルの塔から見る罪の原点」

聖書 新改訳 2017 2017 新日本聖書刊行会より抜粋

メッセージ聖書箇所

創世記11章1節～9節

- 1, さて、全地は一つの話しことば、一つの共通のことばであった。
- 2, 人々が東の方へ移動したとき、彼らはシニアルの地に平地を見つけて、そこに住んだ。
- 3, 彼らは互いに言った。「さあ、れんがを作って、よく焼こう。」
彼らは石の代わりにれんがを、漆喰の代わりに瀝青を用いた。
- 4, 彼らは言った。「さあ、われわれは自分たちのために、町と、頂が天に届く塔を建てて、名をあげよう。われわれが地の全面に散らされるといけないから。」
- 5, そのとき主は、人間が建てた町と塔を見るために降りて来られた。
- 6, 主は言われた。「見よ。彼らは一つの民で、みな同じ話しことばを持っている。このようなことをし始めたのなら、今や、彼らがしようと企てることで、不可能なことは何もない。
- 7, さあ、降りて行って、そこで彼らのことばを混乱させ、互いの話しことばが通じないようにしよう。」
- 8, 主が彼らをそこから地の全面に散らされたので、彼らはその町を建てるのをやめた。
- 9, それゆえ、その町の名はバベルと呼ばれた。そこで主が全地の話しことばを混乱させ、そこから主が人々を地の全面に散らされたからである。

今月の賛美

真昼のように

The image shows a musical score for a hymn. It consists of eight staves of music, each with a line of Japanese lyrics underneath. The music is written in a treble clef with a key signature of two flats (B-flat and E-flat). The lyrics are: 1. いのちを かけ ー て あいをしめ された イエ 2. スさまに 出 会い す べて が 変 わ った わ 3. たしは あ な たに な に を も っ て か 4. んしゃを あ ら わ せ ば い い の だ ろ う 5. まひる の よ うに ー かがや き な がら 6. ー あなたの あいをつ た え た ー い 7. ー イエさま の ように ー かがや き つづ ける 8. ー 世のひ かりに ー し て く だ ざ い ー

Chord progressions are indicated above the notes: Eb, Bb/D, Cm, Eb/Bb, Ab, Ab/Bb, Bb, Ab, Bb, Cm, Ab, Bb, Eb, Ab, Bb, Cm, Fm, Ab/Bb, Bb, Eb, Bb/D, Cm, Eb, Bb/D, Cm, Eb/Bb, Ab, Ab/Bb, Eb.

使徒信条

キリスト教会の最古の信条で、普遍的に受け入れられ、告白される信条の一つです。

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、
三日目に死人の内よりよみがえり、
天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。
かしこよりきたりて生ける者と死にたる者とを審きたまわん。
我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、
聖徒の交わり、罪のゆるし、
からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。
アーメン

主の祈り

主の祈りは、イエス様が「こう祈りなさい」と教えてくださった祈りです。ですから、「主の祈り（しゅのいのり）」と呼ばれています。翻訳によって言葉づかいは異なりますが、新約聖書マタイによる福音書6章9節～13節に書いてあります。

天にまします われらの父よ
願わくは御名をあげさせたまえ
御国をきたらせたまえ みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ われらの日用の糧を
今日も与えたまえ われらに罪をおかすものを
われらがゆるすごとく われらの罪をもゆるしたまえ
われらを試みにあわせず 悪より救いいたしたまえ
国と力と栄えとは 限りなくなんじのものなればなり
アーメン

御言葉メール紹介

★ 2021年4月13日御言葉

テサロニケ人への手紙 第一 5章9～11節

- 1, 神は、私たちが御怒りを受けるようにではなく、主イエス・キリストによる救いを得るように定めてくださったからです。
- 2, 主が私たちのために死んでくださったのは、私たちが、目を覚ましていても眠っていても、主とともに生きるようになるためです。
- 3, ですからあなたがたは、現に行っているとおり、互いに励まし合い、互いを高め合いなさい。

聖書 新改訳 2017©2017 新日本聖書刊行会より引用。

●私たちは神様の聖さと比べれば、自己中心で罪ある者だといつも反省させられることが多いものです。しかし、神様は「私たちが完璧に聖くなれば救ってやる！」と言うようなお方ではないのです。私たちはただただ神様から命与えられ生かされている存在であることを忘れずに感謝して歩むことができているのでしょうか？

聖書が語る私たちの本当の幸せは、私たちに命を与えて下さった創造主である神様から離れず、神様とともに生きることだと語ります。

今年は4月4日がイースターでした。このイースターは、罪なきイエス様が私たち人間の罪の身代わりとなって十字架に架かって下さり、聖書を通して神様が語られた約束通り罪に打ち勝ち3日目復活して下さった出来事でした。その事が世界中で大切にされてきているのは、この大きな神の愛を一人一人が信じ心に受け入れ、神様と共に生きるようになることを、神様は待ち望んでおられるからです。神様はいつもそばにいて愛を注いでくださっているのです。その事に私たちが感謝し気づくことができるよう神様を求め続ける者でありたいです。この神様の愛を素直に感謝し受け取ることができた人こそが、愛された者として「神の愛」の力を受けて、愛をもって「互いに励まし合い、互いを高め合う」ことができるようになるのです。

私たち一番身近な家族、親戚、をはじめ、ご近所、職場、学校の仲間、との関係で神の愛を実践していけるものでありたいです。互いに大切に作る「愛」があるところには本当の平安と喜びがあふれるのです。

では今日のそれぞれの歩みが神様の愛と共に生きる歩みとなるようお祈りしています。

原市場聖書教会

若村和仁

報 告

- ★聖書を学びたい方、洗礼を希望される方はお気軽に牧師にご相談ください。
- ★4月以降もしばらくの間、原市場聖書教会での礼拝は以下の対策を継続いたします。
 - 1, zoom 利用が可能な方は引き続きオンラインでの参加をご検討ください。
 - 2, 会堂での礼拝参加の際は、極力間隔をあけてお座りください。
 - 3, 会堂に入られる際には、マスクの着用、手の消毒をよろしくお願いします。
 - 4, 当面の間、食事を伴う交わりは自粛いたします。

●4月以降の平日集会予定

- ★4月7日祈り会より再開、
- ★赤毛のアン、こひつじタイムの再開は5月以降状況をみて判断いたします。

☆イエス様の復活を感謝し私たちの神様への感謝の表れとして「イースター献金」をお献げしたいと思えます。イースター献金袋をご用意しています。イースター献金にご利用ください。

☆公示：日本同盟基督教団教規第47条に従って、定期教会総会を下記の通り開催いたします。

- ・日時：4/25（日）13：30より ・場所：原市場聖書教会礼拝堂
- 教会員の方はご参加お願いいたします。やむを得ない事情で出席できない方は、委任状の提出を若村師または、若村めぐみ姉までお願いいたします。

☆若村和仁師 今週の外部奉仕&予定

- ・4月20日～4月23日（火～金） NPO 法人あまやどり （場所：高麗聖書教会）

本日午後の予定

☆礼拝後オンライン参加者と、礼拝堂の方との分かち合い、祈りのひと時を持ちます。お時間のある方は、礼拝後続けてご参加ください。15分程度で考えています。

次週礼拝（4月25日〈日〉）

- 司 会：本多崇兄
- 聖 書：創世記11章10節～32節
- 説 教：「セムからテラへ」若村和仁師
- 奏 楽：本多こずえ姉
- 讃 美：今月の賛美「真昼のように」
聖歌652、聖歌589、聖歌383
- 受 付：本多祐子姉 献金感謝祈祷：勝山幸子姉

先週の各集会出席者数

		子供	男性	女性	合計
4月11日（日）	教会学校ハレルヤキッズ	3人			3人
	礼 拝	3+0人	5+1人	10+3人	22（20+4）人
		（※上記「礼拝堂+オンライン」表記となります。）			
	夕 礼 拝	お休みいたしました。			
4月14日（水）	祈 り 会	誰も来られませんでした。			

集会案内

- 4月21日（水） 祈 り 会 10:30～12:00
- 4月25日（日） ハレルヤキッズ 9:30～10:15
- 礼 拝 10:30～12:00

頌 栄

聖歌383

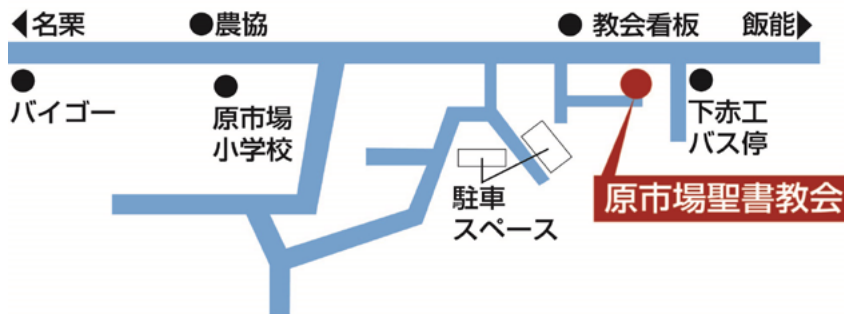
「ちち・みこ・みたまの」

To Father, Son, and Holy Ghost
Tate and Brady, c. 1700 (UN)

ORTONVILLE
THOMAS HASTINGS, 1837

♩ やややく ♩ = 104

ちち・みこ・みたまのおおみかみにーとこしえか
わらずみさかえあれーみさかえあれーアメン



埼玉県飯能市下赤工 396-6 tel:042-977-0254
<http://hbc.holy.jp/>

教会ホームページ <http://hbc.holy.jp/> Eメール hibawaka@aol.com

■ 集会案内 ■

主日礼拝	日曜あさ	10:30-12:00
ハレルヤキッズ	日曜あさ	9:30-10:10
夕拝(第一は休み)	日曜夕方	17:00-18:00
祈り会	水曜	10:30-12:00
赤毛のソ	第2第4火曜日	10:00-13:00
こひつじタイム	第1第3火曜日	10:30-12:00
ハレルヤキッズスペシャル	ひと月一回(日曜か土曜日)	14:00-16:00



原市場聖書教会

〒357-0126 飯能市下赤工 396-6

TEL:042-977-0254

FAX:042-981-7200

牧師:若村和仁